

Saturday  
3/26

Thursday  
3/31

## 民家の趣ある雰囲気と雛人形に心和んだ 森家のひなまつり

まちの話題をお寄せください!!  
情報課 広報広聴係 ☎75-2280 / FAX 75-2110



▲森家ひなまつりの様子

西多久町女性学級主催の「森家のひなまつり」が、くど造り民家森家住宅(市指定重要文化財)で開催されました。主催者手作りの「さげもん」や昭和初期の雛人形などが飾られたほか、今年はあかり工房 自然庵の灯籠や、自由人窯の陶芸作品も合わせて展示され、県内外から多くの人を訪れました。会長の田淵久里代さんは「女性学級メンバーが1年がかりで作った『さげもん』や、地域おこし協力隊の西野実穂さんのアイデアなど、みなさんの協力のおかげで今年は特に豪華な開催となりました。これからも西多久町の活性化のために知恵を出し合って取り組んでいきたい」と語り、まつりを振り返りました。

▶森家に伝わる「御殿飾り」も並びました



◀女性学級の飯守清子さん(左上)、小宮隆子さん(右上)、森佐和子さん(左下)、田淵会長(右下)と地域おこし協力隊の西野さん(中下)

## 地域を見守る強い味方 「高齢者の見守り活動」の協定締結

Thursday  
3/31

「高齢者等見守り活動」に関する協定を九州電力株式会社佐賀営業所、九州電力株式会社佐賀配電事業所と結びました。

この協定は、従業員が業務中に体調不良の高齢者等を見かけた時、業務に支障のない範囲で声かけや行政などに連絡してもらうなど、異変を発見したときに迅速に対応できる体制を強化することを目的にしたものです。

佐賀営業所の小野信介所長は「電気工事や電柱の建て替えなど、住民との接点が多い。これまで以上に精一杯地域へ貢献していきたい」。

佐賀配電事業所の三浦浩司所長は「日頃からお世話になっている多久市民のみなさんに恩返しをしたい。高齢者のみならず、多久市民のみなさんの安心と安全に貢献したい」と話されていました。



◀調印式の様子



▲左から九州電力(株)佐賀配電事業所三浦所長(左)、横尾市長(中)、九州電力(株)佐賀営業所小野所長(右)